

サノSDGs宣言



株式会社サノ

2021

サノSDGs宣言

株式会社サノは、企業理念の更なる追求と持続可能な社会の実現を目指し、国連が2030年までの達成を目標に定める17の持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）に取り組むことを宣言します。

サノが創業当時から大切にしてきた「ヒト・モノ・コト」が、これから先の未来でも大切にされ続けるように。SDGsの各項目に基づき、次世代へと受け継いでいきたい人や物、価値観を大切にするための行動や啓蒙活動を行っていきます。

サノSDGs宣言においては、当社がより取り組むべき重点課題を選定し、事業や地域貢献活動を通じてそれらを達成できるよう努力します。また、秋田県内で同じくSDGsに取り組む企業や団体、また行政と協働し、影響力と貢献度を高めてまいります。

2021年10月22日

株式会社サノ

代表取締役 佐野 宗孝

企業理念

サノは、地域への貢献を通して、
健康で快適な社会と全社員の幸せを実現していきます。

目次

01 サノSDGs宣言について

- 01 サノSDGs宣言
- 02 目次
- 03 トップメッセージ
- 04 サノSDGsプロジェクト
- 06 サノSDGs宣言概要
- 07 サノが大切にしたい「ヒト・モノ・コト」

08 サノSDGs取り組み内容

- 08 地域への貢献・健康で快適な社会の実現
- 16 健康で快適な社会の実現・全社員の幸せ
- 18 SDGsパートナーシップ

19 終わりに

《トップメッセージ》

企業理念を愚直に実践することで、 地域から求められ続ける会社を目指します

当社のSDGs宣言は、約半年にわたって若手・中堅社員から成るチームを主体として自律的に作り上げ、今般の宣言に至りました。

そのキーワードは、「企業理念に基づいたSDGs」です。当社の事業がいかに関係するかと繋がっているかを改めて実感していくなかで、「地域社会と一緒に持続的に発展していく」大切さを全社で共有することができました。今回の宣言では、当社の立ち位置を社内外の皆様にお伝えするとともに、当社の目指していく姿をまとめました。ぜひご覧ください。



株式会社サノ
代表取締役 佐野 宗孝

ー サノSDGs宣言の特長 ー

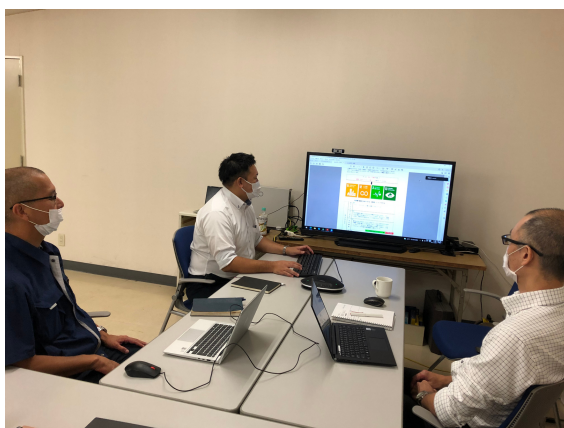
1. 当社の企業理念を基にしてSDGsへ取り組みます
2. 当社のプロジェクトチームで0から作り上げました
3. プロジェクトチームは若手中堅社員で構成されています

(アドバイザー：2021年度 国際教養大学長期インターン生)

サノSDGsプロジェクト

当社では、SDGs宣言を行うにあたり、2021年5月、SDGsプロジェクトチームを立ち上げ、ワークショップや議論を通じたSDGsやサステナビリティへの理解を深めてきました。このプロジェクトは当社の大学生インターンのアイデアからスタートしました。プロジェクトチームは、将来の当社を担う若手・中堅社員を中心によって構成され、部署や立場を超えた意見の交換を大切に活動を行いました。

サノSDGsプロジェクトを進めるにあたり、大切にしてきたことは「なぜ今私たちはこのプロジェクトに取り組むのか」です。これまでをつくってきた世代と、今を生きる私たち、そしてこれから生きていく人々を考え、当社が事業や社会貢献活動を通じて、できること・すべきことを考えました。2021年9月には、部署ごとにワークショップを開催し、全社員がSDGsへの理解を深め、当社の貢献度を考えながら、SDGsへの取り組みを取り決めました。



部署ごとにSDGsへの取り組みについて話し合う様子です。

これからの当社を担う 若手・中堅社員が考えました

SDGsは様々な目標を掲げ、それを皆で進めていくものです。世界の一部の力では解決できるものではないので、まずはSDGsについて知り、それを共有し、協力することは達成に向けて必要だと思います。現在の問題は私たちがつくったものです。皆で力を出し合えば成し遂げることが出来ると思います。地球の未来に貢献できるのでやりがいがあります。積極的に取り組みましょう。



SDGsで掲げられている17の大きな目標、具体的な169のターゲット、そしてその下に232の指標があります。そして、その全ての目標を理解し、達成するのは簡単なことではありませんが当社の事業と紐付けできた目標を達成し、企業の価値を高めていき、当社がこれからも地域、社会に貢献していければと考えています。



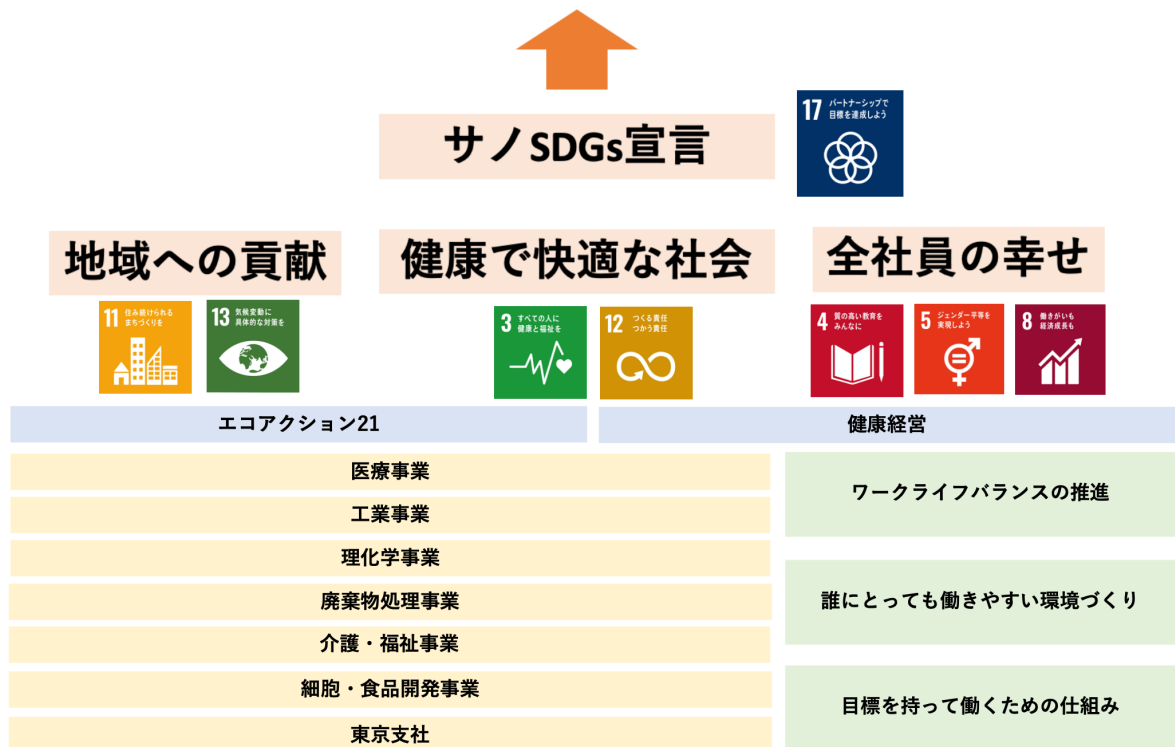
本プロジェクトチームは部門横断的に構成されています。当社がどのようにSDGsと関わっていくのかを自由な発想とさまざまな視点で意見を出してきました。持続可能な社会に求められる企業としての役割を果たし、企業理念の追求と企業価値の向上に努め、当社はこれからも社会に貢献してまいります。



サノSDGs宣言 概要

《企業理念》

サノは、地域への貢献を通して、
健康で快適な社会と全社員の幸せを実現していきます。



サノSDGs宣言は、当社の企業理念を基に構成されています。

企業理念を「地域への貢献」「健康で快適な社会」「全社員の幸せ」の三要素に分け、これらを実現することがひいては「持続可能な社会」の構築に貢献することであると考えています。そのため、これら3点の実現に向け、当社が重点的に取り組んでいくSDGs目標を選定いたしました。これらのSDGs目標の達成に向け、各事業で取り組みを進めてまいります。

これまで当社の事業が社会へ与える影響についてSDGsを通じた理解、意識を促すことで、持続可能な社会への貢献度を高めていきます。また、環境への配慮として参加してきた「エコアクション21」や、社員の心身の健康をサポートする企業としての「健康経営優良法人」の取得を今後も続けていきます。

株式会社サノが大切にしていきたい ヒト・モノ・コト

ヒト	企業活動を通じて関わる全ての人 • お客様 • 利用者 • 仕入れ先 • 社員とその家族
モノ	企業活動における無形の財産 • 築き上げた歴史 • 培ってきた信頼 • 育む変革への挑戦
コト	企業活動を通じた新たな価値の創出 • お客様のニーズの実現 • お客様の課題解決に向けた営業提案 • 企業市民として社会貢献に必要な活動

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



エコアクション21

当社では、2003年より環境省が中小企業向けに推進している環境マネジメントである「エコアクション21」に取り組んでおります。卸売業として、商品の仕入から納品に至るまでの環境負荷低減を考慮し、地球に優しい商品流通を目指しています。以下は、当社が重点的に取り組む内容です。

- 二酸化炭素排出量の削減
 - 社内空調の温度管理、照明のこまめな消灯
 - 営業・配送ルート効率化とエコドライブ
- 廃棄物排出量の削減
 - コピー用紙の裏表使用
 - 段ボールのリサイクル
- 水使用量の削減
- 地域貢献
 - 毎月月初に本社社屋周辺の清掃活動を実施
- PDCAに基づく継続的な改善活動を行い、併せて、環境教育を行う

毎年度、目標の達成率と新たな目標を策定し、環境負荷の低減に向け、継続的な取り組みを行い、エコアクション21へと取り組んでまいります。

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



医療事業

当社では医療機関の検査室で使用する「臨床検査薬」や「機器」、「システム」を取り扱っており、システムについては、自社でのアフターフォローにも力を入れています。また、公共施設に設置される「健康増進機器」の提案も行っております。

- 臨床検査薬やトレーニング機器の販売を通じて、地域の医療と健康増進に貢献します。
 - 営業担当者がDMR（臨床検査薬情報担当者）の資格を取得し、お客様へ正しい知識と最新の情報を提供出来るように努める
 - 検査項目や製品を学習することで、社員自らの健康への意識を高める
 - 取扱い製品の品質および在庫管理を徹底し、安心・安全な製品提供を行う
 - 県内の公共施設に設置されるトレーニング機器の導入提案に積極的に取り組む
- 製品仕入時に発生する保冷剤や梱包材について、リユース、リサイクルに努め、資源を大切にします。
 - 保冷剤はお客様への配送用に再利用し、万一の停電発生時の保冷品管理にも使用する
 - 段ボールはリサイクルし、可燃ゴミを可能な限り削減する
 - メーカー専用の梱包材は可能な限り返却し、再利用を働き掛ける

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



廃棄物処理事業

当社では医療機関から排出される医療廃棄物の収集運搬や、事業所の要請を受けて機密書類の廃棄処分を行っております。安心して確実な業務を心がけています。

- 医療廃棄物等の収集運搬に関し、環境と人に優しい廃棄物の処理、運搬に寄与します。
 - お客様から排出される医療廃棄物や廃棄薬品に関し、正しい分別方法についてお客様と情報の共有を図り、環境汚染を未然に防ぐ
 - お客様からの取扱い等に関する相談には積極的な対応を行う
 - 収集運搬の際には、容器の状態の確認を徹底し、液漏れ等の事故を未然に防ぐ

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



工業事業

当社はものづくりに必要な薬品、装置の取り扱いを行っております。幅広い取扱商品で、秋田のものづくりの基盤を支えています。

- 薬品用容器のリユースとリサイクルに努め、ゴミの削減を目指します。
 - 使用済みの容器をお客様から回収し、メーカーへ返却することで容器の再利用を促進する
 - 使用済み容器の回収の際には、残液がないかなどの状態の確認を徹底して事故・トラブルを防止する
- 社用車による配送ルートの見直しを行い、常に最短ルートの配送に努めます。
 - 一度にまとめた入荷を行うなど、トラック便の利用回数の削減を通じて二酸化炭素排出量の低減に努める
 - 社員一人ひとりが半期に一度、配送・訪問ルートの見直しを行う
 - チャーター便を活用するなどして、一度にまとめた入荷を工夫する

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



理化学事業

当社では大学・官公庁・民間企業の研究・検査機関へ、信頼のあるメーカーの幅広く豊富な製品群と製品情報をもとに、多種多様なニーズに応えられるサービスを提供しております。

- 環境負荷低減の薬品販売を推奨します。
 - 人体に影響が少ない洗浄剤、有機溶剤の販売に努める
 - 営業スタッフ全員が環境負荷低減商品への知識を高め、再生可能な薬品のご提案をする
 - 代替フロンを使用した機器、薬品レス化を進めている機器、作業負担が軽減される機器の販売を推奨する
 - メーカーから情報を取得したり、展示会へ参加したりすることで最新の情報収集に努める

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



レンタルオフィス事業

2016年より東京都日本橋人形町に完全個室型のレンタルオフィスを開
設しています。

- レンタルオフィス事業を通じ、起業・創業の支援を行い地域経済の基盤
を作ります。
 - 完全個室型のレンタルオフィスは、光熱費定額制となっており、快
適性の高いオフィス環境を整えることで、ビジネスのスタートを支
援する

食品開発事業

秋田県産農水産物に含まれる生理機能性を独自に研究し、安心、安全な
機能性食品素材やサプリメントの開発を行っております。また、機能性
食品開発に関するご相談も承ります。

- 機能性食品素材やサプリメントの開発・販売を通じ、健康的な社会に寄
与します。
 - 専門的な知識と確かなエビデンスをもとに、安心・安全な機能性食
品素材やサプリメントの開発・販売を行う
- 地産地消を実践することで地域社会の発展と活性化に寄与します。
 - 秋田県産農水産物を使用し、県内企業および大学や公設試験研究機
関との産学官連携による共同開発を行っている

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



細胞事業

創薬及び生命科学の研究の中で、培養細胞を用いる分野を中心に幅広く、ユニークな製品の販売・探索に取り組んでいます。また、有望な技術を有するベンチャー企業の事業支援*を通じ、画期的な創薬技術の実用化・普及に貢献しています。

*血液脳関門モデル BBB Kit™（ファーマコセル株式会社）総代理店としての活動。

「BBB Kit™」は脳神経疾患領域における新薬や治療法の開発に活用される研究用試薬です。治療薬が充足していない認知症等の神経疾患や希少疾患（アンメットメディカルニーズ）における治療法や新薬の開発に貢献しています。

- BBBKit™の流通やメーカーの事業支援を通じ、健康的な社会に寄与します。
 - 本製品の活用によって、創薬の効率化（開発期間の短縮/開発コスト削減）や動物実験の削減（動物愛護）が期待されている

[学術論文として発表されている活用例]

- 乳がんの脳転移メカニズム解明（検査法・脳転移予防技術の開発）
- 抑肝散（漢方薬）の作用メカニズム解明（認知症治療法の開発）
- 既存薬による脳血管障害治療効果の評価（脳卒中発症後の治療法開発）
- 抗HIV薬の脳移行性解析（AIDS/HIV脳症の治療法開発）
- ポリフェノール類の脳移行性解析（脳に作用する食品機能性成分開発）

地域への貢献 健康で快適な社会

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を

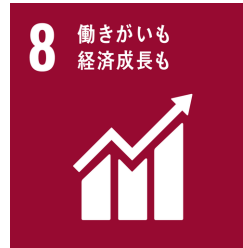


介護・福祉事業

当社は、事業新規開業時や移転時の、各種施設コーディネートと用具・機器、介護事業用各種機器、子育て支援スペースのコーディネート等、介護福祉分野で様々なニーズに応えた提供を行っています。

- 福祉用具の販売を通じ、地域に暮らす全ての方が心身ともにいきいきと暮らせるようサービスを提供します。
 - (株)医療福祉研究所の総代理店として、同社の「褥瘡予防マットレス」を主力商材に持ち、これらを中心に県内の医療機関や介護施設に提案する
 - 秋田の医療・福祉体制を支援する、県の「ものづくりチーム秋田」に卸売業として参画。医療機関等と、ものづくり企業とを仲介し、医療・福祉現場へ円滑な物資の供給を行う
 - 学会や展示会への参加を通じ、最新の情報を身につけ、お客様へ提供する

全社員の幸せ 健康で快適な社会

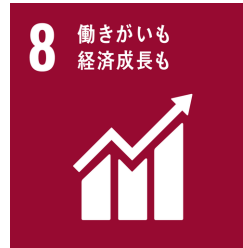


健康経営優良法人

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。当社では、2019年度から経済産業省・秋田県版とともに認定され、独自に以下の項目に取り組むことで社員の健康増進に努めています。

- 企業対抗型の運動促進イベントへの参加を積極的に行います
 - 歩数やランニング距離数を法人ごとに競うイベントに定期的に参加し、楽しく運動を促す
- 社員の食生活を支えます
 - グループ会社である「サノ・ファーマシー」より栄養士を講師として招き、社員への定期的な栄養指導を行う
 - 食事補助サービス「オフィスおかん(置き型社食)」を導入し、栄養のある昼食を摂れる環境を整える
- 朝礼時、腰痛予防ストレッチを実施しています
 - 朝礼に参加した社員全員で声かけをしながら行う
- 健康に関する情報周知を行います
 - 秋田県健康づくり推進課で発行している「健康経営通信」や、全国健康保険協会(協会けんぽ)秋田支部のメルマガ「まメールですか」を全社員へ社用メールで共有する

全社員の幸せ 健康で快適な社会



ワークライフバランスの推進を行います

- 社内全体での有給取得率50%を目標とする(2021年度目標)
- 「年休取得フォローシート」を活用した、上司・部下間の年休取得に関するコミュニケーション向上
- 月一回の「全社一斉定時帰りデー」を設置(原則毎月第3金曜日)
- ジェンダーを問わず育児・介護休業の取得を推奨(2019年度:男性1名育児休業取得)

誰にとっても働きやすい環境づくりを目指します

- 新入社員に対する導入研修実施による、円滑な立ち上がり支援
- 従業員の福利厚生をまとめたハンドブックの作成と配布
- 従業員の意見をもとに働きやすい環境の整備を行う
- 生活習慣病検診を受診した場合、会社が半額を負担
- インフルエンザ予防接種の社員への全額補助
- 全社員のストレスチェックの実施(50名未満の事業場として)
- ハラスメント防止のため、全社員が講習を受講
- 外部相談窓口の設置(心理カウンセラー)

目標を持って働くための仕組みづくりに取り組みます

- 中期3カ年計画「Sano Acton Plan2022」の策定・推進
- 目標管理シートを用いた、全社・部署目標の個人への落とし込み
- 定期個別面談(春・秋)による目標進捗フォロー(1次:上司、2次:社長)
- キックオフミーティング(4月)やフォローアップミーティング(10月)等の全社ミーティングを用いた、全社員のベクトル合わせ
- 誰もが、意欲があれば昇進できる環境づくり

SDGsの県内周知

SDGsパートナーシップ

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGsを推進する秋田県内他企業との連携

東電化工業さまが行う、ペットボトルキャップを回収活動に参加しています。キャップを回収し、リサイクルして得たお金を発展途上国でのワクチン接種のための費用として寄付する活動に参加しています。また、当社が回収拠点となり、協同組合秋田卸センター内企業へ活動への参加を呼びかけております。

秋田県SDGsパートナー登録制度（申請中）

秋田県が募集するSDGsパートナーへの登録申請をしております（10月25日現在）。県内でもSDGsへ積極に取り組む企業として、行政や県内企業さま、教育機関との連携をしております。地域経済や地域課題への貢献性を高めてまいります。

県内学生インターンの積極的な受け入れ

県内の高校・大学などに通う学生を積極的に学生インターンとして受け入れています。県内大学と連携を図りながら、産学官交流を促進します。また、学生に対し、秋田県内での就業体験の機会を提供することで、未来の地域経済を担う基盤を人材教育の側面から支えます。

グループ一体経営の推進

グループ会社であるサノ・ファーマシーとの連携を更に強化することで、グループ内資源を最大限活用しながら「地域の健康を守る」目標を達成してまいります。

終わりに

「サノSDGs宣言2021」を発行するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社は、企業理念のさらなる追求と社会貢献を軸にSDGsへの取り組みを始めることとなりました。SDGsプロジェクトの発足、宣言の公開にあたり、お力添えいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

当社は、江戸時代に商いを始めて以降、秋田という土地に根ざし「地域への貢献」「健康で快適な社会」「全社員の幸せ」の実現を目指してまいりました。この志は変わらず、時代や社会課題の変化に合わせ、SDGsを意識した事業や貢献活動に取り組むことに決めました。

サノSDGs宣言は今後も柔軟にその中身を更新しながら、国連が掲げる2030年、そしてその先の未来をまもるための活動をしてまいります。今後とも当社の社会貢献活動、社会課題解決のための行動につきまして、忌憚ないご意見をいただけますと幸いです。

株式会社サノ
SDGsプロジェクトチーム一同



株式会社サノは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

株式会社サノ

【本社】

〒010-0061

秋田市卸町3丁目4-2

018-862-6644

ホームページ

<http://www.sano-co.com>

代表アドレス

sano@sano-co.com